事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（都道府県名：青森県）　　（青森県　平成２０年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①（対象作物・畜種等名）①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①：計画時（平成16年度）	事業実施後の状況①：１年後（平成17年度）	事業実施後の状況①：２年後（平成18年度）	事業実施後の状況①：３年後（平成19年度）	事業実施後の状況①：目標値（平成19年度）	事業実施後の状況①：達成率	成果目標の具体的な実績①	作物等区分②（対象作物・畜種等名）②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②：計画時	事業実施後の状況②：1年後	事業実施後の状況②：2年後	事業実施後の状況②：3年後	事業実施後の状況②：目標値	事業実施後の状況②：達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）：交付金	負担区分（円）：都道府県費	負担区分（円）：市町村費	負担区分（円）：その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
黒石市	黒石市農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型（水稲）	品質向上	品質分析の実施者の割合50%以上	158戸 51%	戸	158戸 51%	178戸 57%	275戸 88%	16%	品質分析者割合の達成率が16%に留まった											無人ヘリコプター1機	9,733,500	3,090,000	0	0	6,643,500	H18.3.10	品質分析者の割合が57%に留まっているが、20年度から全量青森ｸﾘｰﾝﾗｲｽとすることから実施者が増加すると予想される。	品質分析者は目標を下回る結果となったが、食味・品質の高位平準化の重要性を認識してもらい、品質分析の必要性の啓蒙を図り、改善状況を報告させながら、早期に目標を達成するよう指導する。機械の導入効果自体は、非常	
田舎館村	津軽みなみ農業協同組合			土地利用型（水稲）	畜産農業の環境保全	環境保全に取組む農家数の増加	37人	201人	614人	553人	418人	135%	農薬節減米の取組農家数が目標を上回った											色彩選別機1基	41,790,000	19,900,000	0	0	21,890,000	H18.1.26	事業目的は達成した。	消費者の安全・安心ニーズに対応した農薬節減米（全農青森県本部で推進している青森クリーンライス）の取組農家が増え、成果目標を達成できたことから、機械の導入効	
鰺ヶ沢町	(有)白神アグリサービス			土地利用型（水稲）	品質向上	品質分析の実施者の割合50%以上	0戸	0戸	100戸 71% 受益141戸	138戸 82% 受益169戸	110戸 81% 受益135戸	101%	品質分析者割合が目標を上回った											無人ヘリコプター2機	16,485,000	5,495,000	0	0	10,990,000	H18.3.17	品質分析への関心が高くなっている。	品質分析実施者数が増え、成果目標が達成された。	
五戸町	倉石地域航空防除実施協議会			土地利用型（水稲）	品質向上	品質分析の実施者の割合50%以上	10人 2%	10人 2%	359人 79%	345人 76%	400人 88%	86%	品質分析実施者割合の達成率は86%に留まった。											無人ヘリコプター２機	20,632,500	6,877,000	0	0	13,755,500	H17.11.30	目標に達しないため、品質分析の必要性を啓蒙し、実施者の増加に努める。	品質分析の必要性は認識されているが、品質分析者数の目標を達成しなかったことから、食味・品質の高位平準化の重要性を認識してもらい、品質分析の必要性の啓蒙を図り、改善状況を報告させながら、早期に目標達成する	
五戸町	館町野菜生産組合			輸入急増野菜（にんにく）	輸入急増農産物における国産ｼｪｱの奪回	全出荷量のうち高品質化に取組む割合が30%以上	0%	%	50% 33.6t/67.2ｔ	37.1% 33.6t/90.6ｔ	48% 33.6t/70.0ｔ	77.3%	高品質化目標数量は100%達成、特別栽培農産物及び氷温食品の認証取得											氷温庫一式、ﾊｲﾏｽﾄﾌｫｰｸﾘﾌﾄ１台、設計監理料	43,360,800	20,648,000	0	0	22,712,800	H18.2.15	全出荷量が増えたため相対的に達成率が下がったが、事業効果は満足できる。	高品質化に取組む数量は33.6tで目標を100%達成しており、事業効果としては、氷温庫等の導入効果は高いと評価する。 しかし、全出荷量が増加したため、達成率では77.3%となった。 今後は特別栽培農産物の割合を高めることにより、達成率の向上が見込まれるため、目標達成が図られるよう指導を強化する。	

２ 整備事業
（産地競争力の強化を目的とする取組用）

（青森県　平成２０年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①（対象作物・畜種等名）①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①：計画時（平成16年度）	事業実施後の状況①：１年後（平成17年度）	事業実施後の状況①：２年後（平成18年度）	事業実施後の状況①：３年後（平成19年度）	事業実施後の状況①：目標値（平成19年度）	事業実施後の状況①：達成率	成果目標の具体的な実績①	作物等区分②（対象作物・畜種等名）②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②：計画時	事業実施後の状況②：1年後	事業実施後の状況②：2年後	事業実施後の状況②：3年後	事業実施後の状況②：目標値	事業実施後の状況②：達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）：交付金	負担区分（円）：都道府県費	負担区分（円）：市町村費	負担区分（円）：その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
十和田市	十和田市農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	輸入急増野菜（ねぎ）	輸入急増農産物における国産ｼｪｱの奪回	10ａ当たり労働時間の削減5%以上	288 hr/10a	288 hr/10a	274.5 hr/10a	262.9 hr/10a	263 hr/10a	100%	10a当たり労働時間を現状から25.1hr削減した。											ねぎ移植機一式５ｾｯﾄ	3,675,000	1,750,000	0	0	1,925,000	H17.12.20	機械導入により面積が拡大した。苗質により植え付け精度が変動するので、育苗技術向上により、更なる時間短縮が可能。	作業時間の短縮により、面積の拡大が図られたことから、機械の導入効果は高いと評価する。	
東北町	八甲田農業協同組合			輸入急増野菜（にんじん）	輸入急増農産物における国産ｼｪｱの奪回	契約取引割合の増加5%以上	20.1% 203ｔ	19.7% 211ｔ	25.8% 219ｔ	34.3% 402ｔ	25.5% 350ｔ	263%	共選出荷量1,173ｔに対し契約取引量は402ｔで、契約取引割合は34.3%となり目標を上回った。											にんじん収穫機１台	7,560,000	3,600,000	0	0	3,960,000	H17.10.31	契約取引数量は目標を上回り、成果目標の契約取引割合を増加させ達成した。	にんじんの作付面積は目標に届かなかったものの増加傾向にあり、また、契約取引数量は目標を上回り、成果目標を達成できたことから、収穫機の導入効果は高いと評価する。	
五所川原市	ごしょがわら市農協花き部会			花き	生産性向上	燃料使用量を10%削減	18,300 ﾘｯﾄﾙ/10a	18,100 ﾘｯﾄﾙ/10a	16,400 ﾘｯﾄﾙ/10a	15,000 ﾘｯﾄﾙ/10a	16,400 ﾘｯﾄﾙ/10a	174%	燃料使用量が18%削減											三重カーテン7棟循環扇18台	2,811,000	1,405,000	0	0	1,406,000	H18.3.29	燃油使用量が減少したが、価格の高騰により経営費が増加した	燃油使用量が大幅に減少したことにより、燃油価格の高騰の影響を軽減できたことから，資材の導入効果は高いと評価する。	

２ 整備事業
（産地競争力の強化を目的とする取組用）

（青森県　平成２０年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①（対象作物・畜種等名）①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分②（対象作物・畜種等名）②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時（平成16年度）	１年後（平成17年度）	２年後（平成18年度）	３年後（平成19年度）	目標値（平成19年度）	達成率					計画時	１年後	２年後	３年後	目標値	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
つがる市	つがる21生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	品質向上	上位等級比率の向上	54.2%	71.1%	72.0%	60.1%	70%	37%	病害虫防除が徹底されたことにより上位等級比率の割合が６ポイント増加した。											栽培管理ビークル１台	4,460,000	1,486,000	0	0	2,974,000	H17.7.7	防除は効率良く行われたが、汚損粒による品質低下が見られた。	成果目標については、機械導入後の平成17年度、平成18年度においては、目標値の70%を達成した。しかし、平成19年度は降雪が早かったための大豆の汚れにより落等したために目標達成には至らなかった。なお、適期防除が可能となったこと等から作付け面積が毎年増え、平成19年度には92haと計画時の40haから倍増し、当該機械による病害虫防除面積も74haと目標の185%となっている。収量についても計画時の10a当たり175kgから平成19年度には182kgと増加（104%）しており、機械導入の波及効果と思われる。今後も基本技術の励行により目標達成は可能と思われ、機械の導入効果は高いと評価出来ることから、	
西目屋村	西目屋村			畑作物・地域特産作物(そば)	需要に応じた生産量の確保	生産数量を5%以上増加	6.7t	t	5.6t	8.6t	19.2t	15.2%	目標値の15.2%に留まった。											そば収穫機１台	3,675,000	1,225,000	0	0	2,450,000	H18.3.9	結果として達成率15.2%に留まったことから、今後、課題等を再度分析し、必要に応じて関係機関の指導を仰ぎながら目標達成に努める。	単収が低いことから、施肥・播種機の台数増加による生産体制整備と施肥量の見直しにより改善を図りながら、栽培全体の問題点と単収向上に向けた課題を分析して、早期に目標を達成するよう指導する。	

２ 整備事業
（産地競争力の強化を目的とする取組用）

（青森県　平成２０年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①（対象作物・畜種等名）①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（平成16年度）	1年後（平成17年度）	2年後（平成18年度）	3年後（平成19年度）	目標値（平成19年度）	達成率	成果目標の具体的な実績①	作物等区分②（対象作物・畜種等名）②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時	1年後	2年後	3年後	目標値	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
つがる市	富菏稲わら生産組合	産地競争の強化	産地競争の強化に向けた総合	飼料増産（稲わら）	生産性の向上	受託面積を１％以上増加	22.2ha	74ha	86ha	81ha	74ha	113.5%	受託面積の増加58.8ha(265%増)											稲わら収集機の導入	9,030,000	3,010,000	0	0	6,020,000	H17.9.29	目標を達成している	目標達成しており評価する	
東北町	らくのう青森農業協同組合	産地競争の強化	飼料基盤活用の促進	土地利用型作物（サイレージ用とうもろこし、牧草・乳牛）	生産性の向上	飼料自給率5%以上の増加	43.6%	60.9%	60.9%	65.9%	61.6%	123.9%	飼料自給率51.1%増加											草地造成2ha 改良3ha 草地整備改良 舗装・用排水等整備一式 用地造成整備7,200㎡ 電機導入施設整備1基 飼料調整1棟 貯蔵施設整備 牧場用機械施設整備18台 測量及び試験費 工事雑費1式	267,251,450	133,622,000	0	0	133,629,450	H18.3.31	目標を達成している	目標達成しており評価する	
十和田市	奥瀬牧野畜産農業協同組合	産地競争の強化	飼料増産	牧草、稲わら・繁殖牛	生産性の向上	飼料作付面積1%以上増加	42ha	42ha	53ha	53ha	50ha	137.5%	飼料作付面積26.2%増加											ロールベーラの導入	3,717,000	1,180,000	0	157,000	2,380,000	H18.3.24	目標を達成している	目標達成しており評価する	
弘前市	弘前市りんご省力生産組合	産地競争の強化	産地競争の強化に向けた総合的推進	果樹（りんご）	生産性向上	りんご栽培における霜による被害の防止	0ha	1.77ha	1.77ha	1.77ha	1.77ha	100%	9園地1.77haに計31基の防霜ﾌｧﾝを設置した											農作物被害防止施設 防霜ﾌｧﾝ 31基	10,931,550	5,465,000	546,000	1,093,000	3,827,550	H18.3.30	霜による被害の防止が図られた	設置後から目標年度までは降霜は無かったが、平成２０年４月下旬から５月中旬に発生した降霜では、防霜ファンを設置した園地での被害は報告されず、その効果が立証されて	
弘前市	弘前改植組合			果樹（りんご）	生産性向上	りんご栽培における風による被害の防止	0ha	5.1ha	5.1ha	5.1ha	5.1ha	100%	56園地5.1haに計1,035mの防風網を設置した											農作物被害防止施設 防風網1,035m	16,191,010	8,095,000	809,000	1,619,000	5,668,010	H18.3.30	風による被害の防止が図られた	防風網設置後、数度、本県に台風が接近したものの、実施地区では設置した防風網が活用され、落果被害が見られなかったことから、被害の防止が図られたものと評価する。	

２ 整備事業
（産地競争力の強化を目的とする取組用）

（青森県　平成２０年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①（対象作物・畜種等名）①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分②（対象作物・畜種等名）②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時（平成16年度）	１年後（平成17年度）	２年後（平成18年度）	３年後（平成19年度）	目標値（平成19年度）	達成率					計画時	1年後	2年後	3年後	目標値	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
藤崎町	常盤りんご改植組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化向けた総合的推進	果樹（りんご）	生産性向上	風による農作物被害の防止	0ha	0.8ha	0.8ha	0.8ha	0.8ha	100%	3園地0.8haに計134mの防風網を設置した											農作業被害防止施設 防風網 134m	2,412,000	1,206,000	120,000	120,000	966,000	H18.3.31	風による被害の防止が図られた	防風網設置後、数度、本県に台風が接近したものの、実施地区では設置した防風網が活用され、落果被害が見られなかったことから、被害の防止が図られたものと評価する。	
藤崎町	藤崎町りんご選別機利用組合			果樹（りんご）	需要に応じた生産量の確保	りんごの内部品質に応じた出荷の割合：出荷量のうち90%以上を選果機利用	0%	88.90%	87.50%	93.30%	90%	103.6%	取扱量1,225ｔのうち選果機処理量1,143ｔ											集出荷貯蔵施設 選果棟（1棟） 選果機（1条1基）	31,859,572	15,929,000	0	0	15,930,572	H17.12.9	作業効率が向上し、市場評価も高まった。	内部品質を保証することで市場での評価が高まるとともに、選果能力の向上により労働コスト削減にもつながったことから、選果機の導入効果は高いものと評価する。	
つがるにしきた農業協同組合				果樹（りんご）	需要に応じた生産量の確保	内部品質に応じた出荷の割合：出荷量のうち83%以上を選果機利用	0%	82.50%	84.70%	86.70%	83%	104%	取扱量3,199ｔのうち選果機処理量2,774ｔ											集出荷貯蔵施設 選果機（2条１基） 精算システム（一式） ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ（2台）	102,532,500	48,825,000	0	21,500,000	32,207,500	H18.3.31	作業効率が向上し、市場評価も高まった。	内部品質を保証することで市場での評価が高まるとともに、選果能力の向上により労働コスト削減にもつながったことから、選果機の導入効果は高いものと評価する。	